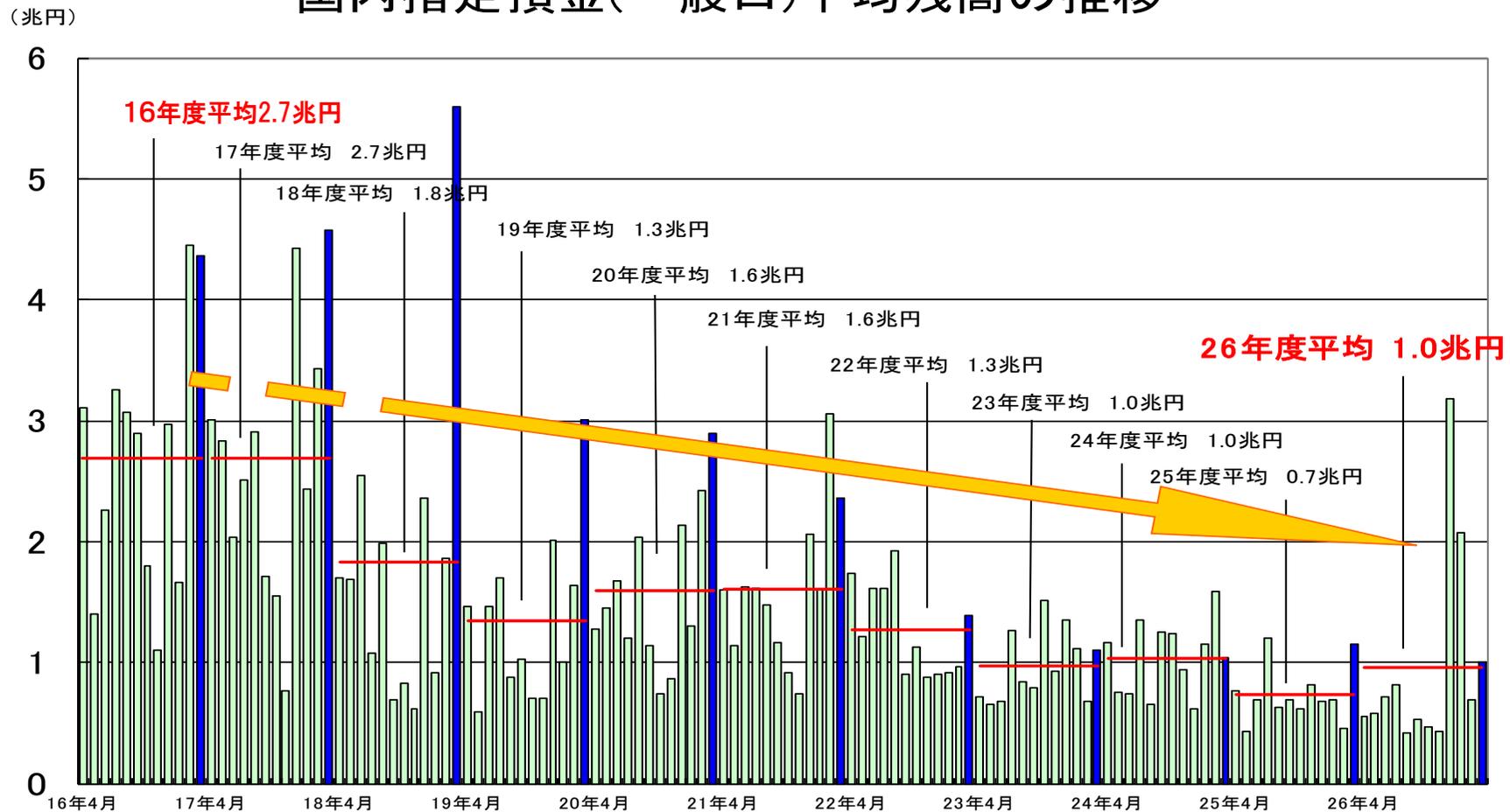


# 国庫余裕金残高の推移

国庫金の受払日の調整により、国庫余裕金残高は大幅に圧縮され、国内指定預金(一般口)の平均残高をみると、施策実施前の16年度2.7兆円から26年度1.0兆円へと大幅に縮減しました。

## 国内指定預金(一般口)平均残高の推移



※ 26年度12月及び1月の一般口残高が積み上がった主な理由は、流通市場において、国庫短期証券が恒常的にマイナス利回りで取引されていたため、国債整理基金において予定していた運用を行うことができなかったことによるものである。

※ なお、この特殊要因による影響を控除した場合、平成26年度の国内指定預金(一般口)平均残高は0.6兆円である。